

月刊 サンエスウォッチング Vol.10

SOMA
FABRICATIONS

SOMA ソーマ・・・

自由で個性ある日常の自転車

SOMA の生みの親 である「MERRY SALES」はサンフランシスコにある自転車卸売会社で100年近い歴史があります。第二次大戦前から日本の自転車界とも付き合いがあり、現在も代々続くオーナー会社として身の丈で経営しており、メーカーの販売代理に加えてオリジナル製品の開発にも力を入れています。境遇や規模や取り組みが似ている当社との付き合いは2007年から始まりました。そのオリジナル製品の代表的ブランドが「SOMA FABRICATIONS」です。

サンフランシスコ のベイエリアはアメリカで一番多様な人種が住む都市。庶民に根差す文化や次世代の優れたイノベーションが生み出されてきた地として有名ですが、自由で個性ある自転車文化も若者たちを中心に、育まれてきました。そんな恵まれた環境のもと2000年代初めに「SOMA」は生まれました。名前の由来は多様性文化の震源地「South of Market = マーケット通り南」の地名から。ブランドプロデューサーはシスコの老舗自転車店「アメリカンサイクラリー」の店主「ブラッドレー」氏。



モーターの電波塔

誕生のきっかけ・・・「日常のサイクリスト（通勤やちょっとした用事やフィットネスや単純に自転車に乗るということetc）」の自転車のある生活を少し良くしたい・・・というもの。それは例えば、実用的（広い用途）で丈夫（長持ち）で快適でシンプルで手頃な自転車フレームや、カスタマイズの自由さを見い出せる部品を開発し提供することでした。



周辺の街並みと、SOMA 製品のラボでもある「アメリカンサイクラリー」



店主の「ブラッドレー」氏

SOMA と東京サンエスとのつながり

SOMA 製品には自由で多様なスタイルが宿っています。既存の概念に捉われることなく感性に合うものを取り入れる中で、当社オリジナルの「Veno ボードレスカーボンハンドルバー」を2014年の発表当初から注目し、後のアルミバージョンである「DixnaCross ニーザーハンドル」はSOMAブランド「Condor (コンドル) ハンドル」として米国内を中心に発売が開始されました。現在はSOMAからのアイデアを融合した「Condor 2」(日本国内「DixnaCross ニーザー2ハンドル」)をリリースするに至っています。特にハンドル位置を高くする趣向の「アメリカンサイクラリー」でのセッティングで重宝すると共に、昨今のグラベル&アドベンチャー系に有効なハンドルとしても注目されてきました。



NEW ALBION「Drake (ドレイク)」に装着のDixnaCross「ニーザー2ハンドル」。
©cyclowired

SOMA と NEW ALBION のフレーム&フォークをアレンジしたものです。



Wolverine V3

Double Cross Disc

Juice

Buena Vista DISC

Pescadero

NEW ALBION
CYCLES

「NEW ALBION (ニューアルビオン)」・・・SOMA の姉妹ブランド。サイクリング黄金時代の優雅で爽やかな自転車の感触を現代風に表現したブランドです。名前の由来はイギリスの探検家「フランシス・ドレイク」が後のサンフランシスコの北の海岸に名付けた名前。実用性に重きを置き、且つ気品ある移動手段としての自転車を提供したいと立ち上げられたブランドです。



Drake

STARLING

次回、月刊サンエスウォッチング「Vol.11」は、5/10(金)の配信予定です。